



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジェイテック  
 コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 西田 和弘 TEL 03-6228-6463  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,384	7.9	139	—	174	92.8	110	113.6
2022年3月期第3四半期	2,209	7.2	△110	—	90	94.8	51	641.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 115百万円 (222.1%) 2022年3月期第3四半期 35百万円 (49.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	13.94	—
2022年3月期第3四半期	6.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,908	1,047	54.9	131.46
2022年3月期	1,981	932	47.1	117.52

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,047百万円 2022年3月期 932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	7.0	175	—	215	83.1	118	95.8	14.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	8,572,400株	2022年3月期	8,572,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	604,900株	2022年3月期	636,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	7,940,325株	2022年3月期3Q	7,900,335株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染対策や経済社会活動への各政策の効果等により持ち直しの兆しが見られる一方、世界的なインフレの進行や中国でのコロナ感染状況、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化が懸念される中、急激な為替変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、引き続き、当社顧客の需要動向等が回復状態にあり、テクノロジストに対するニーズは高いものとなっております。

当第3四半期は、テクノロジストの稼働率が高水準の状況下においても、営業活動への注力と教育環境の強化に一層努め、高付加価値業務への配属やローテーション等の施策によるテクノロジストの平均単価の上昇により売上高は増加となりました。また、全社的な業務効率化やコスト削減が奏功して販売費及び一般管理費は減少となり、営業損益はじめ、利益面も大幅に改善しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,384,192千円（前年同期比7.9%増）、営業利益139,255千円（前年同期は110,936千円の営業損失）、経常利益174,127千円（前年同期比92.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益110,669千円（前年同期比113.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 技術職知財リース事業

当第3四半期連結累計期間は、主に稼働人員数の増加と平均単価の上昇により、売上高は2,358,905千円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は399,446千円（前年同期比149.5%増）となりました。

#### ② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

当第3四半期連結累計期間は、コロナ禍の影響を受け、引き続き休止している業務もあり、売上高は25,286千円（前年同期比1.7%増）と横這いに推移し、販売費及び一般管理費の削減の結果、セグメント利益は5,216千円（前年同期は15,113千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,908,857千円となり、前連結会計年度末より72,935千円の減少となりました。これは主に繰延税金資産の減少35,277千円によるものであります。

負債合計は861,486千円となり、前連結会計年度末より187,623千円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済による減少75,874千円、賞与引当金の減少87,382千円によるものであります。

純資産合計は1,047,371千円となり、前連結会計年度末より114,688千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上110,669千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.9%と前連結会計年度末の47.1%に比べ7.8ポイント上昇いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年6月29日の「（訂正・数値データ訂正）「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、2023年1月31日に公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,284,527	1,267,978
受取手形、売掛金及び契約資産	434,520	441,168
電子記録債権	3,149	6,852
仕掛品	43	—
その他	72,470	57,089
流動資産合計	1,794,711	1,773,088
固定資産		
有形固定資産	54,033	49,667
無形固定資産	1,084	751
投資その他の資産		
敷金及び保証金	55,183	43,505
繰延税金資産	70,464	35,186
その他	6,315	6,658
投資その他の資産合計	131,964	85,351
固定資産合計	187,081	135,769
資産合計	1,981,793	1,908,857
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	110,124	104,275
未払金	116,953	57,956
未払費用	45,636	79,973
未払法人税等	55,492	1,306
未払消費税等	51,339	57,394
賞与引当金	170,363	82,980
その他	9,451	59,963
流動負債合計	559,360	443,850
固定負債		
長期借入金	259,605	183,731
退職給付に係る負債	230,144	233,904
固定負債合計	489,749	417,635
負債合計	1,049,109	861,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	248,548	250,483
利益剰余金	534,273	637,006
自己株式	△96,946	△92,162
株主資本合計	947,709	1,057,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,841	4,161
退職給付に係る調整累計額	△18,868	△13,952
その他の包括利益累計額合計	△15,026	△9,791
純資産合計	932,683	1,047,371
負債純資産合計	1,981,793	1,908,857

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,209,290	2,384,192
売上原価	1,730,426	1,677,469
売上総利益	478,864	706,722
販売費及び一般管理費	589,801	567,467
営業利益又は営業損失(△)	△110,936	139,255
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	209	102
受取補償金	672	—
助成金収入	173,800	35,229
投資有価証券売却益	27,900	—
その他	196	707
営業外収益合計	202,780	36,040
営業外費用		
支払利息	1,531	1,167
営業外費用合計	1,531	1,167
経常利益	90,311	174,127
税金等調整前四半期純利益	90,311	174,127
法人税、住民税及び事業税	24,617	28,322
法人税等調整額	13,890	35,136
法人税等合計	38,508	63,458
四半期純利益	51,803	110,669
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,803	110,669

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	51,803	110,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,389	319
退職給付に係る調整額	4,568	4,916
その他の包括利益合計	△15,820	5,235
四半期包括利益	35,982	115,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,982	115,904
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,184,420	24,870	2,209,290	—	2,209,290
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	4,660	4,660	△4,660	—
計	2,184,420	29,530	2,213,951	△4,660	2,209,290
セグメント利益又は損失(△)	160,095	△15,113	144,982	△255,919	△110,936

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△255,919千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,358,905	25,286	2,384,192	—	2,384,192
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	4,183	4,183	△4,183	—
計	2,358,905	29,470	2,388,376	△4,183	2,384,192
セグメント利益	399,446	5,216	404,662	△265,407	139,255

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△265,407千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。